

鐵管の耐震接手 爰に初めて完成さる



工 事 概 要

導水路延長	自世田ヶ谷町代田 至淀橋浄水場	4,793米(約1里8町)
構 造	内徑2,100耗鋼管を現場銲接し厚240耗混凝土卷防護をなす	
1m當り工費	約220圓(内鋼管費約83圓)	
鋼管の寸法	長6.0m 厚12耗(重量3.9kg)	
總 工 費	1,930,000圓(新水路を撤廢し幅員9米の道路新設費約450,000圓を含む)	
工 期	自昭和六年度至同八年度三ヶ年繼續事業	
使 傭 人 夫	延 450,000人(1日平均490人)	
現場銲接個所試驗水壓	10.5kg/cm ² (150lb./inch ²)	
導水勾配	1/3,070	
最大水頭	29.70米(和田堀浄水池より連絡せる場合) 1.44米(玉川上水路より連絡せる場合)	
現場銲接機	スミス・ブラウンホベリ-4臺, 電動機三相交流15H.P回轉數 毎分1,450; 發電機直流10k.w.(5アンペア4ホルト)	
工事關係者	鐵管敷設掛長	技師 佐藤 真次
	現場擔當員	技手 西野 喜一
	同	同 村松 朝雄
鋼管製作並現場銲接請負者	株式會社川崎造船所	

(1) 寫眞は東京市水道の導水路たる内徑2,100耗の電弧銲接鋼管を耐震接手により接續敷設したる工事現場の狀況(昭和7年3月17日撮影)